

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

三重県協同組合交流集会の開催 —三重県勤労者福祉会館で—



9月30日(火)、三重県勤労者福祉会館において、三重県協同組合交流集会被開催された。

この交流集会被は、県内の協同組合の相互交流、県民への協同組合活動の意義を広めることなどを目的に結集したJA、JF、生協、労福協の4つのグループと、その活動目的に賛同した中小企業団体中央会を構成団体として活動している三重県協同組合連絡協議会が主催しており、昨年に引き続き2回目の開催となる。

冒頭、協議会の奥野長衛会長の挨拶後、各団体職員による体験発表と、パネルディスカッションが行われた。体験発表は、同協議会の構成団体の若手職員が、職場の紹介や働きがいなどについて語るもので、三重外湾漁業協同組合の弓場輝男氏の「漁協のさかな屋 直販事業～新鮮な魚を届けたい～」、三重漁連の前川弥

生氏の「三重漁連で働くわたしの仕事」など9団体の発表が行われた。パネルディスカッションでは、三重大学人文学部法律経済学科の青木雅生准教授がコーディネーターとなり、発表者と意見交換などを行い、参加者は皆、熱心に耳を傾けていた。

最後に、協議会の土森弘和副会長による挨拶があり、閉会となった。



体験発表



パネルディスカッション

**三重すし街道鮎まつりの開催
—おかげ横丁で—**

10月1日（水）、県内のすし店三十四店で作る「三重すし街道」が、おかげ横丁にあるすし店「横町君屋」にて、大間産マグロと三重漁連提供の「伊勢まぐろ」のすしを盛り合わせた「食べ比べセット」を五百食限定で販売した。

午前 10 時から販売が開始され、午後 2 時ごろに完売となった。多くの客が列をなし、マグロの味を楽しんでいた。



多くの客が来店



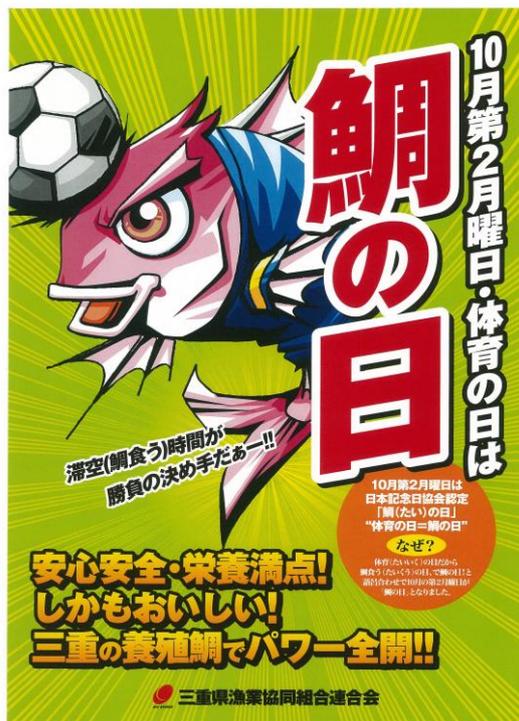
店内の様子

10 月の第 2 月曜日は「鯛の日」

三重漁連では、三重県産真鯛のPRを図るため、日本記念日協会に10月の第2月曜

日を「鯛の日」として申請し認定を受けている。この日は「体育の日」であるため、鯛食う（たいくう）の日、で「鯛の日」と語呂合わせとなっている。

今年は、今年13日がこの日にあたっているため、鯛の日にちなんで鯛料理等で、三重県産の養殖真鯛をぜひ活用し、味わっていただきたい。



【主な予定】

- 10月4日（土）
 - ・ 水難救済会訓練（河芸）
- 10月11日、12日（土、日）
 - ・ 津まつり即売会（津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。